

政策目標 2 主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街

重点課題 1 市民の主体的な地域づくりの支援

施策の基本方針

札幌市自治基本条例の下、市民が主体的に考え、行動できる街を目指し、まちづくりセンターを拠点として、まちづくり活動の機会の充実や、まちづくりに必要な情報の積極的な提供、まちづくり活動を行う団体間の連携の促進などを行うとともに、町内会活動やボランティア活動などの市民活動を一層応援し、市民が主役のまちづくりを進めます。また、市民自治の実践として、まちづくりセンターの地域による自主運営化や雪対策の推進など、市民の主体的な活力あふれる地域づくりを支援します。

重点課題における今後の展開（課題）

市民による主体的な活動をさらに活性化していくためには、新たな担い手の発掘・育成に加え、地域の方が活動できる場の整備を進めていく必要があります。また、地域の方が安心してまちづくりセンターの自主運営化に踏み込むことができるよう、環境整備を進めていく必要があります。

達成目標の状況

項目	現状値(18年度)	実績値(22年度)	目標値(22年度)
地域自主運営化したまちづくりセンター数(累計)	-	8カ所	10カ所
(郊外住宅地等の)地区計画の決定、変更数	-	3地区	3地区
地域まちなみづくり推進制度の策定	検討	検討	策定(21年度)
(地域と創る冬みち事業)参加町内会数	186町内会	565町内会	560町内会
市民による砂まきの割合の増加	57%	66%	70%
企業名入り砂箱の設置数	79基	129基	160基
区民協議会の設置区数(累計)	3区	10区	10区
大学連携ネットワーク会議の設置	-	設置 (22年度)	設置 (20年度)
(大学・地域連携)学生プレゼンテーション大会開催数(累計)	1回	5回	5回
市民まちづくり活動促進条例制定	検討	制定 (19年度)	制定 (19年度)
市民まちづくり活動促進基金設置	検討	設置 (20年度)	設置 (20年度)
新中心市街地活性化基本計画の策定	検討	認定調整	策定 (20年度)
大通・駅前通地区まちづくり計画の策定	-	検討	検討
「まち本」等活用講座受講者数	127人	2,854人	500人
里塚・美しが丘地区センター開設	-	開設 (20年度)	開設 (20年度)
まちづくり参加入門教室の開催数	-	20回(1区2回) (21年度)	20回(1区2回) (21年度)
子どものまちづくり体験事業の実施回数	-	23回	10回(1区1回) (20年度)

項 目	現状値(18年度)	実績値(22年度)	目標値(22年度)
(さっぽろ元気NPOサポートローン)融資件数(累計)	29 件	53 件	70 件
札幌市アイヌ施策推進計画の策定	-	策定 (22年度)	策定 (21年度)
地区福祉のまち推進センター拠点設置数	58 地区	63 地区	74 地区
福祉推進員数	6,170 人	6,262 人	6,600 人
(児童会館)子ども運営委員会設置数	12 館	全館 (164 館)	三二児童会館 含む全館
(さっぽろ市民カレッジ)講座受講者数	3,520 人	4,319 人	4,200 人